

# 教えるから 共に学ぶへ ⑯-1

R7. 12. 5 (金)

R7.11.20 (木) の2年生保健体育の  
授業レポート  
今治市立菊間中学校  
渡邊 早智

菊間中学校では、グランドデザインに示したように「学び合い」「聴き合い」「探究的な学習」をキーワードに授業改善を進めています。その第15弾として、渡邊が2年1組で研究授業をしましたので、その様子をお知らせします。

B課題：学力の基盤（base）となる課題  
A課題：探究活動（advanced）を導く課題

## ○ 授業について

目標 交通事故を防止するために、どんな対策をとればよいのか理解する。

自他の危険を予測を基に、危険を回避したり、事故による傷害の悪化を防止したりする方法を身に付け、対策を考える。

### 1 【導入】前時の復習を行う。

交通事故が起こる原因は、「これぐらいでいいだろう」と規則を守る態度が欠如し、不安定な心身の状態で起こる「人的要因」と、道路環境がよくない場所や自然の悪条件で起こる「環境要因」の他に、もう一つ「車両要因」があります。「車両要因」の事故について考える上で、車には見えない場所（死角）があることや、内輪差があることなど、車の特性について理解するとともに、乗る自動車や自転車が壊れいたら事故の可能性が高まるということを再確認しました。

### 2 【B課題】交通法規について確認する。危険について理解する。

- 交通法規について、自転車も「車両である」ということを確認し、ルールを守ることの必要性について理解を深めました。中学生は、青切符対象の年齢ではありませんが、自転車を乗るうえでは守らないといけないということを、自分事として考えてもらえるよう説明しました。
- 右の写真を提示し、危険について考えた結果は、「普段通っている道だから大丈夫・安全」という生徒がほとんどでした。また、この場所が危険だということが分かっていない生徒も多くいました。この場所は、朝の通学時間帯が特に危険であるということを説明し、危険は、「直接目に見える危険」と「直接目に見えない危険」があるということを確認しました。



### 3 【A課題】歩行者、自転車、自動車の目線に立って、危険を予測し、危険を回避する方法や交通事故をゼロにする対策を考える。

- 菊間町内で危険な場所の写真を提示し、歩行者、自転車、自動車の目線に立って危険を予測しました。

① 丁字路 <枠内は生徒の意見です。>

- ミラーはあるが、右側から自転車や歩行者が来ているのか分からぬ。
- スピードを出して自動車や自転車が多く通っている。
- 建物があり、右折すると歩行者とぶつかる危険性がある。



② 交差点

- 建物もあり自転車や歩行者が、どこから来るのか見えにくい。
- 車がたくさん来たとき、逃げ場がない。
- 車通りが多い。



### ③ 暗い道・坂道



- ・ スピードを出しすぎている自動車や自転車がたくさんいる。
  - ・ 歩行者目線から、自動車や自転車が来ているのか分かりづらい。
- ・ 危険回避の方法や自分たちにできる対策について考えました。
- ・ 交差点や「止まれ」の標識では必ず止まる。                   ・ スピードを出しすぎない。
  - ・ 線路や横断歩道などでは、自転車から降りて渡る。        ・ 左右をしっかり確認する。
  - ・ 歩行者専用通行帯では、自転車を降りてから通る。        ・ 自転車乗用中は左側通行。
  - ・ 標識をよく見る。

## 4 【まとめ】

### ① 歩行者や自転車、自動車が安全に利用できる環境づくり、町づくり、取り組みについて説明する。

行政でも自転車道路の幅を広げたり、歩行者の安全を確保できるよう道路を直したり、それぞれが安全に利用できる環境づくり、町づくりに取り組んでいることを学びました。また、朝の登校時間にも、自転車や歩行者の安全を守るために、警察官が、パトカーのランプを点灯し、危険を知らせてくれていることを伝え、いろいろな所で安全な町づくりが行われているということについて理解を深めることができました。

### ② 安全な町づくりに向けて、交通事故をゼロにするために、自分自身ができるることを考える。

- ・ 一人一人が余裕を持って行動すること。    ・ 交通安全防犯標語をたくさん設置すること。
- ・ 「ここは危険な場所だな」と思いながら通学する。
- ・ 町内の危険な場所を把握しておくこと。
- ・ 事故を起こしそうな危険運転をしている人に注意をする。
- ・ 一人一人のルールを守る意識が足りていないので改めていくよう呼びかけること。
- ・ 自分だけでなく周りの人のことも考えた行動をすること。                   <生徒の意見です。>

授業を通して、私たち菊間町内に住む人々、菊間町内を通勤で通る人たち、観光客一人一人が危険についてしっかりと理解し意識することが交通事故をゼロに近づけるために大切であることを改めて感じました。「いつも通っているから大丈夫。」「信号がないからスピードを出しても大丈夫。」ではなく、一人一人が「危険を予測」し「ルールを守ること」をしっかりと心掛けることが交通事故ゼロへの近道です。自分自身を振り返って、これから的生活に生かしてもらえたならと思います。また、生徒から、「地域の人々や利用者に伝える」という意見も出たので、今後方法等について考え、多くの人が訪れる菊間町の交通安全に少しでも役立てることができたらと思いました。

## 保護者の皆様へ

下の記入欄にご意見ご感想をお聞かせ願えたらと思います。お寄せいただいたご意見ご感想は、まとめたのち「⑯-2」として再度配布します。そして、貴重なご意見は授業改善に生かしていきたいと思います。ご協力お願いします。

----- キリトリ -----


